























# 業種別景況予測

## 2023年4月～6月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部 会	1～3月 (実績)	4～6月 (見通し)	概 況			
寝 装 リ ピ ン グ			「行先が不透明(毛布製造業)」原料の仕入価格の上昇、電気代等の高騰で利益を圧迫している(毛布製造業)」との原料高騰に対する厳しいコメントが寄せられた。			
織 維 フ ャ ヲ シ ョ ン			「原油高、ガス、電力を筆頭に経費高騰の見込み。先行き不透明(染色整理業)」例年に比べ仕事量が大幅に減少している(繊維加工業)」など、厳しいコメントも寄せられた。			
工 業			「人材不足(協力会社含め)で依頼があっても受注対応できない(機械工具製造業)」自動車産業減少の影響が出ている。エネルギーコスト、諸物価高騰、賃上げ等により収益は減少している(鉄鋼業)」材料、エネルギー費用増加により、収益確保に苦慮している同業が多い(鉄鋼業)」原材料が高くなった分の価格転嫁はできているが、量的にはダウン。いつまで続くか予想しにくい(化学工業)」のコメントが寄せられた。			
建 設			「物価が上昇して、一般消費者の購入意欲が低下している(建築業)」新築は少し減少、リフォームは大幅減少。景気の回復が待たれる(鉄金属卸売業)」為替が円安で推移している為よくない。得意先は買い控えを続けている為、売上は減少である(建築材料卸売業)」などのコメントが寄せられた。			
運 輸 倉 庫			「物流動向が悪くなっている様に感じる。2024年問題が既に影響している感じがする(倉庫業)」4月度より荷動きが鈍くなっている。輸入も減少気味で先行きが不透明(倉庫業)」2024年問題を見据えた価格転嫁への理解が醸成されつつある(運送業)」とのコメントが寄せられた。			
金 融 理 財			「ほぼコロナ前水準に戻り、新たな事業機会も少し増加してきた状況(経営コンサル業)」相続の依頼が非常に多い。確定申告が終わったので建設業の決算変更届の書類作成も多く届いている(土業)」chatGPTにより各土業はもとより、金融理財業にも大きな影響が及ぶと思われる(土業)」などコメントが寄せられた。			
一 般 商 業			「SNS 広告を使った販売が好調(雑貨小売業)」コロナ禍の影響がまだまだある(飲料卸売業)」自転車用ヘルメットがにぎわいを見せているので、帽子関連グッズとして取り組んでいきたい(雑貨小売業)」メーカーのインターネット進出で競合となり、クーポン・ポイントで対抗(服飾小売業)」などのコメントが寄せられた。			
サービ 商 業			「団体旅行の申込が増えている(旅行代理店業)」徐々に客足は戻りつつあるが、逆に材料費等が値上がりし、収益は右肩下がり傾向(スポーツ業)」障がい福祉事業はコロナの影響が少なくなり、コロナ前の利用率に戻っている(介護業)」仕入れ、燃料等が上がり、人件費も上がったが値上げは出来ず、とても大変(惣菜小売業)」とのコメントが寄せられた。			

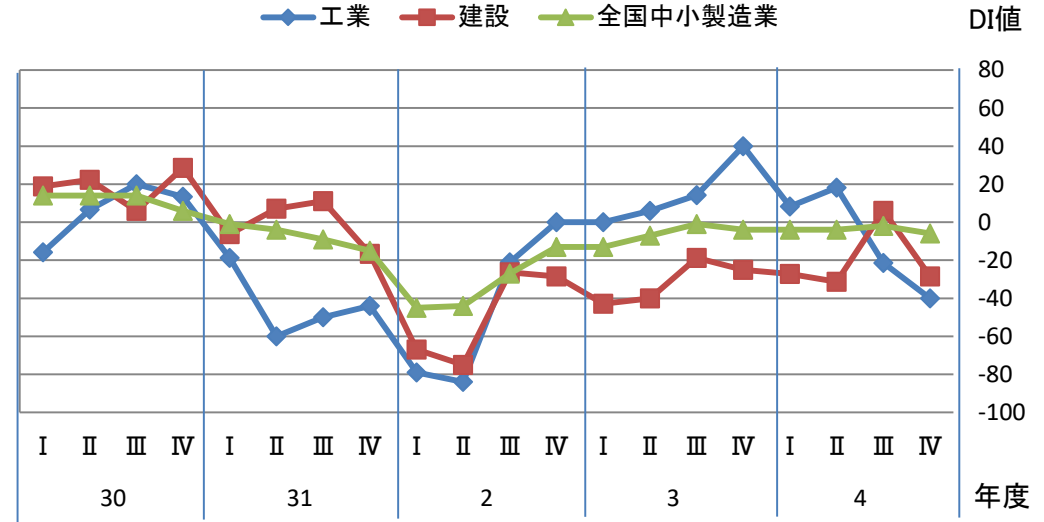
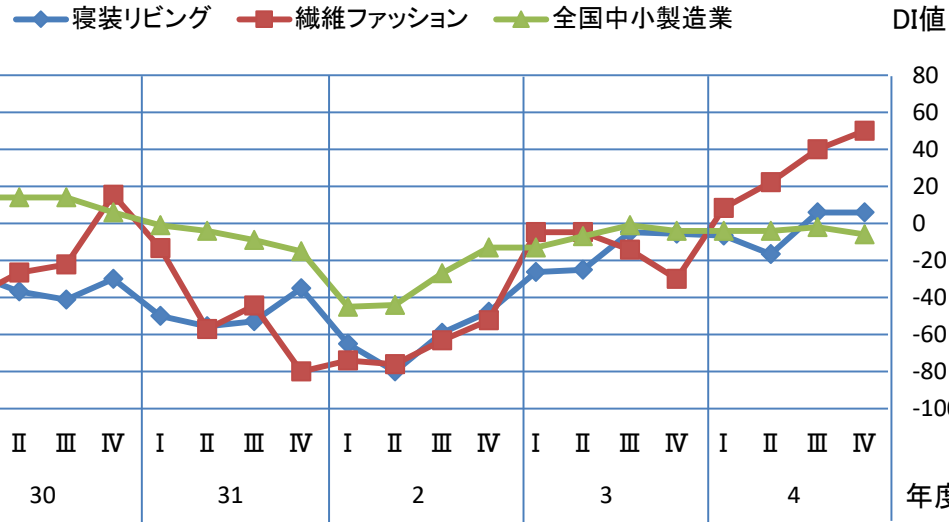
(調査概要) ●調査実施 令和5年4月 ●調査対象企業 284社 ●回答数 125社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111

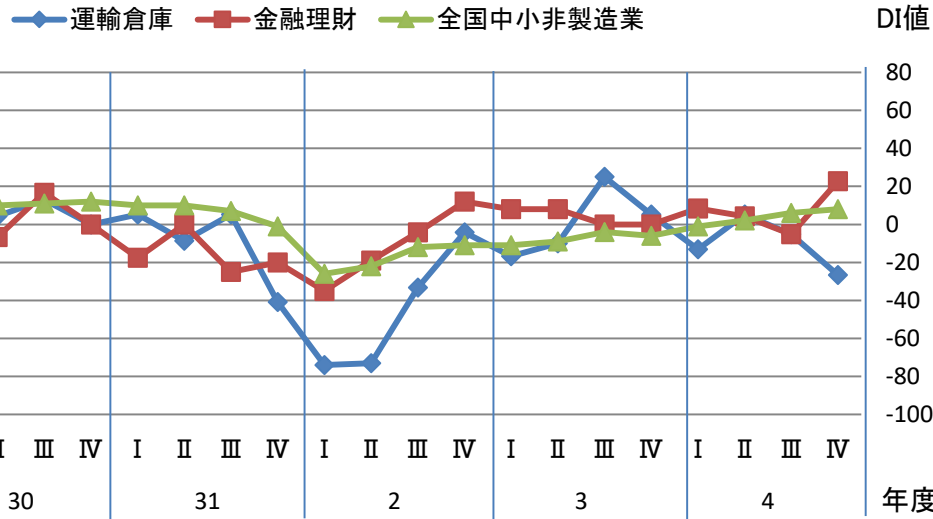
**前年同期と比較**

泉大津の全産業のDI値は繊維ファッション業・金融理財業・サービス業の上昇により回復を見せた。業種別にみると、繊維ファッション業・金融理財業・サービス業については改善、寝装リビング業はやや改善、工業・運輸倉庫については悪化、建設業・一般商業は横ばいと同業種内でも差異がみられる。



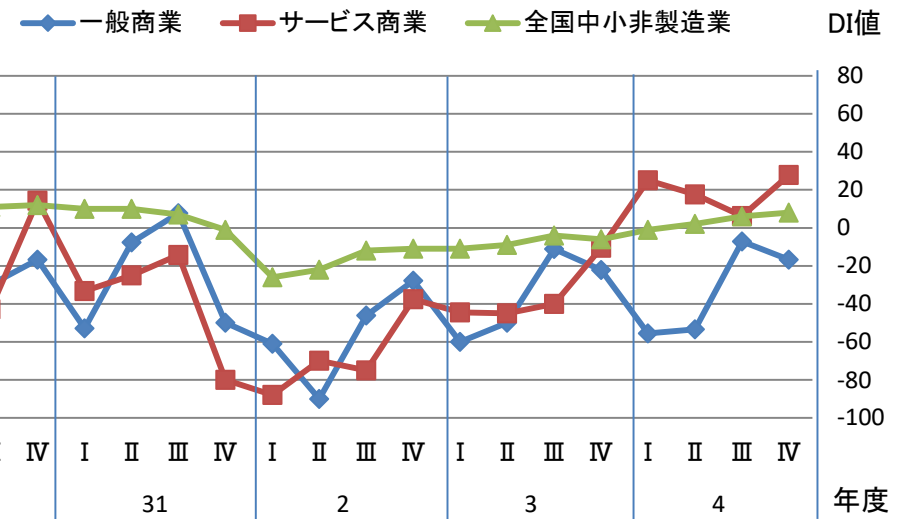
**前年同期と比較**

寝装リビング業・繊維ファッション業ともに、前年同期に比べ売上高は上昇傾向で、寝装リビング業は前期と比べ横ばいであるが、繊維ファッション業は上昇傾向が続いている。



**前年同期と比較**

仕入価格の上昇、人手不足などの影響で、工業は前年同期と比べ大幅に減少している。建設は、減少傾向であるが、前年同期のところで踏みとどまった様子。



**前年同期と比較**

金融理財は、他の産業の影響もあり、売上高は上昇傾向にある。運輸倉庫は依然として、減少傾向が止まらず前年同期より減少した。

**前年同期と比較**

一般商業は、前期少し改善が見られたが、伸び悩む様子である。サービス商業の売上高は上昇傾向でコロナ前に戻りつつある様子。

※DI値: 売上状況の回答 (増加-減少=DI値) ※H30.7 ゲリラ豪雨

※H30.9 台風21号

※R2.3 新型コロナウイルス感染症拡大

㊦ 全国中小製造業・非製造業は前期と比較しています。

I = 第一四半期(4~6月)

II = 第二四半期(7~9月)

III = 第三四半期(10~12月)

IV = 第四四半期(翌年1~3月)